

農業委員会だより



おみやげ
大宮売神社秋祭り 大宮町周枳の秋祭りでは、神楽・三番叟・笹囃子・太刀振りが奉納され、豊作や無病息災などを祈願されました。「写真提供 吉岡光輝さん(周枳)」

● 目次 ●

2~3P **農を語る** 日下部農園
日下部 啓作さん (久美浜町)

4~5P **建議書**
農地パトロール
耕作放棄地再生に向けて

6P **視察研修**

7P **賃借料**

8P **京丹後アグリ瓦版**

9P **京丹後紀行「あそび」・鳥取保育所**

10P **郷土料理ーさといもといかの煮つけー**



▶大きくて多汁で甘い「王秋」
おいしいですよ!

◆直売
8年くらい前から国道178号線沿いの道の駅サンカイカン前で直売所を開設しています。お客さんの3割位は都会のお客さんです。

◆販売方法
スーパーとの取引は約50年の歴史があります。他に青果市場やJAへの出荷、直売も行っています。

にいたので情報の交流ができ大変助かっています。
自分が勉強した時の恩返しと言っては大きいです。現在は、鳥取県立農業大学校（果樹科）の生徒を年に1人1ヶ月の研修で15年間受け入れています。

◆こだわり

- *美味しいものを作るために、有機質肥料を多めに使用しています。
- *自然神という言葉があります。果樹栽培の多くの部分を自然に育ててもらっているので、良い果物ができるよう、神様に祈ることを常としています。
- *先代から受け継いだ年中行事や生活様式は、村の文化を守るという気持ちで、子供に引継ぎたいと思っています。
- *丹後に強い愛着があるので、日常生活でも直売所の接客でも出来るだけ久美浜弁を話すようにしています。

◆獣害対策

被害が大きいのは鹿ですが、市からワイヤーメッシュの原材料支給によって、大半は防除出来ています。

カラスも大きな被害をもたらしますが、国営鹿野団地では、果樹同志会で管理している檻で対応しており、被害は減ってきています。

◆夢

*いつも食卓に果実が常にある



農を語る

『こだわりの梨』

◆経営規模

- 梨2ha（ゴールド20世紀・新興・愛宕・秋月・秋栄・王秋等）
- ブドウ80a（藤稔・ピオーネ・紫玉）
- 桃40a
- 水稲80a

果樹は国営開発農地5箇所栽培
32年前に父から引継ぎ、経営面



日下部農園

くさかべ
日下部

けいさく
啓作さん
(54)
(久美浜町平田)

積は1.5倍に拡大しました。
◆京都府の梨

久美浜町における20世紀梨の栽培面積は全国で6位で、梨の栽培の歴史は100年を超えています。久美浜町の農家の果樹栽培面積は、1戸2〜3haあり全国的に見ても、1戸当たり面積は大きいです。

かつては傾斜地での栽培でしたが、国営開発農地が造成された20年前から平地での栽培に変わり、灌水設備もでき、作業がし易くなり栽培規模の拡大が可能になりました。

◆農業を始めた時期

昭和57年に梨農家の3代目として就農しました。

就農前に鳥取県農業試験場（果樹技術講習所）で勉強したのが今も活きていて、当時の仲間が鳥取

生活習慣。

- *果実をゆっくり食べてもらえ生活になつてほしい。
- *販売方法としては、観光果樹園に向けて、体験型のような取り組みがしてみたい。
- *京丹後市は、都会からのお客さんが遊べる場所が少ないので、行政にも頑張ってもらいたいと思います。

取材中も頻りに訪れるお客さんに対して奥さんのゆかりさんが品種の説明を親切にされていました。

取材：瀬戸牧男 委員



▶品種の説明をするゆかりさん

全国農業新聞を購読してみませんか?

NATIONAL AGRICULTURAL NEWS

全国農業新聞

全国農業新聞は公的代表機関である農業委員会系統組織が発行する週刊の農業総合専門紙です。「週刊」ということから日々の報道には限界がありますが、むしろ週刊の時間を活かし、大切な情報をわかりやすくまとめています。

また、多くの読者の皆様に満足して頂けるよう、家族全員が楽しめる記事も充実しています。さらに、全国47都道府県にある支局の充実により、地域の元気で特徴ある明るい話題や地域独自のイベント情報などの提供に努めています。

購読の申込みは京丹後市農業委員会へお気軽に連絡ください。

週刊 金曜日発行 月600円、
年7,200円（消費税込み）



平成27年度 京丹後市農業施策に対する 建議書を提出しました

農業委員会では市内の農業振興施策が実効あるものとなるべく議論を重ね10月21日、中山市長に平成27年度の農業関係予算及び農業施策に反映されることを願い、農業委員会等に関する法律第6条第3項に基づき建議書を提出しました。

1 野生鳥獣害対策の強化について

市内では、水稲を中心として国営開発農地畑、海岸沿いの砂丘畑、梨を中心とした果樹栽培等多様な農業が営まれています。鳥獣被害も多様で猪、鹿、熊、猿、カラス等、全市域的に防護対策なしには農作物の生産ができない状態となっています。特に、熊や猿においては、農産物への被害だけでなく人への危害も危惧されます。

京都府では、熊は保護動物に指定され捕獲が禁止されており、猿についても捕獲頭数が厳しく制限されていますが、農業被害増加と耕作意欲の減退に及ぼす影響は甚大となっており、今や防衛のみでは被害を減少させることは非常に困難となっています。これ以上の農業被害を避けるため、積極的な駆除が求められています。

- (1) 積極的な駆除を進めるため、狩猟免許取得の支援等、捕獲員の確保強化。
- (2) 隣接自治体と連携した広域的な被害防除の取組の強化。
- (3) 捕獲個体の処理体制の整備強化。
- (4) 防護柵等設置への支援強化。
- (5) 人と野生生物を隔てるバッファゾーンの設定・維持管理についての支援。

2 優良農地の確保と有効利用について

- (1) 耕作放棄地発生防止のため総合的な対策の強化。
- (2) 「中山間地域等直接支払制度」「多面的機能支払交付金事業」など、要件に該当する全地域が参加できるように、地域が取り組みやすい行政の指導・事務的な支援の強化。

- (3) 京力農場プラン(人・農地プラン)の推進のため、集落への指導体制の強化。
- (4) 農用地利用集積を進めるに当たって、新たな制度である農地中間管理機構を利用した事業推進。

3 担い手対策について

平成25年度から「丹後農業実践型学舎」が始動し、国営開発農地畑を基盤とした農業の担い手の育成が期待されていますが、昨今の農業・経済情勢は非常に厳しく、学舎を卒業する今年度末の就農時には、資金をはじめ総合的な支援が必要と思われる。

- また、担い手対策は、新規就農者対策だけでは不十分であり、既存農家の後継者を育成・支援する施策も併せて講じられたい。
- (1) 農業経営者会議など農業者の組織への更なる支援。
- (2) 新規就農者だけでなく、農家後継者への就農支援対策の強化。
- (3) 農地の荒廃を防ぐため、集落営農組織への支援の強化。
- (4) 営農支援に関わる施策・補助事業等の情報提供の更なる充実。

4 営農支援について

水田農業対策について

農業者戸別所得補償制度が継続されるようご尽力をお願いするとともに、円滑に生産調整が実施されるようご指導をお願いしたい。

- (1) 「京丹後市地域農業再生協議会」がリーダーシップをとって生産調整に対応していただきたい。
- (2) 水田農業対策について、不公平感が生じない適正運用に努められたい。
- (3) 売れる米作り対策について、良食味生産拡大に積極的な支援をお願いしたい。

丹後国営開発農地対策について

葉たばこが廃作となつてから、未だそれに替わる作物が見つからない状態となっている。関係機関とも連携し、早急に推進策を講じていただきたい。

- (1) 丹後国営開発農地の利用権設定の更新が順調に進むよう取り組んでいただきたい。
- (2) 葉たばこの代替えとなる農作物の早急な導入対策を講じられたい。
- (3) 国営農地に設置されている農業用施設の更新及び改良を図られたい。

京丹後ブランド品生産のあり方と流通対策について

京丹後市の農産物について様々なメディアで情報提供がなされ、消費者の関心や評価は高まっています。今後、ブランド産地として発展するには農家を組織化し、安定した生産・供給体制を確立する必要があります。そのためには、関係機関が連携して産地化の取り組みを進める必要があります。

- (1) 各種農産物の数量把握の取組みを強化されたい。
- (2) 平成25年産米において、丹後産米は多くの関係者の努力で「特A」を獲得することができた。「特A」を継続獲得するためにJAを中心とした生産組織の更なる連携強化を図られたい。
- (3) 京丹後産農産物をブランド化するには、品質の向上とともに、安定した生産・供給体制の確立が不可欠であり、JAを中心とした生産組織の連携強化が不可欠である。そのためにも、市とJAの連携を一層強化し京丹後産ブランドの確立のための施策を推進されたい。

5 循環型農業の取り組みについて

- (1) バイオマス液肥の有効利用についてさらなる実証を積み重ね、「環のちから」のPRに努め、市民の理解を得ていただきたい。

- (2) 京丹後市内で生産される畜産農家の堆肥を市内で有効に還元する方策を確立されたい。
- (3) 国営開発農地の土作りに対して支援をしていただきたい。
- (4) コウナトリが生息し続けることができる自然にやさしい農法の普及拡大に努められたい。

6 地産地消の推進について

- (1) 京丹後市産の農水産物の学校給食での積極的な利用を、地産地消という点から京丹後市としても考慮をお願いしたい。
- (2) 地場産品を地元で販売する取り組みへの積極的な支援をお願いしたい。
- (3) 食育基本法を積極的に活用し、地元の農水産物を食べる伝統的な日本型食生活の良さを次世代に伝える活動を推進していただきたい。

7 農業委員会の体制強化について

平成21年に農地法の抜本改正が行われ、農地の利用状況調査等の事務の増加など、農業委員会の日常業務は非常に多忙となっています。円滑な業務遂行のために、事務局の体制強化について京丹後市のさらなる支援を図られたい。

8 TPP交渉について

平成25年3月15日、安倍内閣総理大臣よりTPP交渉参加表明がなされました。日本は、農業分野では、重要5品目(米、麦、牛肉、豚肉、乳製品、甘味資源)の関税撤廃除外が主な交渉課題となっていますが、TPPは農業に限らず我が国の経済・社会システムを大きく変える可能性のある危険なルールづくりであるにもかかわらず、交渉の内容自体が明らかにされず、国民全体で議論し判断するための情報公開はほとんどなされないままとなっています。この間、日本政府は農業分野で大きな譲歩を用意しているとも伝わるなかで、本年9月末に開催された日米閣僚級交渉でも、結局進展はなかったと報道されています。

現在のような状況では、TPPは国益を損なうことが明らかであり、速やかに交渉から撤退するよう政府に働きかけていただきたい。

農地パトロールを行いました!!

京丹後市農業委員会は平成26年8月21日に管内の農地パトロールを行いました。



▲耕作放棄となった農地を確認する委員

毎年実施するこのパトロールは、農業委員により農地の違法転用がないか、申請どおりの計画で転用等が行われているかなどを確認しています。

今年は、丹後農業実践型学舎の1期生が営農する国営農地ほ場や、遊休農地となっていた畑を耕作放棄地再生利用事業により再生した畑や、今後、再生される予定の耕作放棄地の現地等も確認しました。

農業委員会では、違法な開発や利用がされないよう、農地パトロールを行っていますので皆様のご協力をお願いします。

「耕作放棄地再生に向けて」

今年4月から農業委員会では、遊休農地利用推進員として耕作放棄地対策のお手伝いをさせて頂いています。農業を取り巻く情勢は非常に厳しく、今年もゲリラ的な風水害や、鳥獣被害と格闘しながらやっと収穫できたと思つたら、米価は生産過剰を踏まえてか、かつてない低水準になり溜め息が出る状況です。加えて、TPP参加も交渉筋は来年2月頃に大詰めが予測され、農家の不安はますます大きくなっています。

京丹後市内全農地の平成25年12月末時点の耕作放棄地全体調査では約604.5ha(内、農振内約105.2ha)の昨年報告が上がっており、前年に比べ約15.4ha(内、農振内約6.7ha)増加しています。現状は山間部の谷間等生産性の面で厳しいと思われるところから、平野部に点在しているところまで様々です。その背景には、やはり高齢化による労働力不足と鳥獣被害が一番大きく起因していると思われたい。

京丹後市では、平成21年度から「耕作放棄地再生事業」に取り組みしています。平成25年度からは、砂丘畑の再生に重点を置いた取組を進める中、昨年からは、野町のAFグループと協力して町域を超えた再生事業に着手しました。その結果、砂丘甘藷「まいご金時」の特産化と規模拡大に向けて意欲的に取り組むはこびとなりました。再生ほ場での今年の収量は思っていたより良好であったことから、今後も耕作放棄地再生事業を活用して規模拡大に協力していきたいと思っています。

▲現地を確認する岸本推進員



遊休農地活用推進員 岸本 昭彦

情報 利用権設定における賃借料のお知らせ



平成25年1月から12月までに締結(公告)された賃借権における賃借料水準(10a当たり)は、以下のとおりとなっております。
この賃借料情報はあくまで目安です。貸し手と借り手が十分に話し合い、お互いが納得できる額で決定して下さい。



1 田(水稲)の部

京丹後市農業委員会

締結(公告)された地域名	平均額	最高額	最低額	データ数	備考
峰山町	9,400	15,000	4,600	91	
大宮町	5,900	6,500	3,300	11	
網野町	10,400	13,000	6,500	33	
丹後町	11,700	14,000	6,300	9	
弥栄町	4,900	8,400	3,500	35	
久美浜町	6,500	11,500	5,000	110	
(参考)京丹後市平均	7,800			289	

2 畑の部



締結(公告)された地域名	平均額	最高額	最低額	データ数	備考
峰山町	15,000	15,000	15,000	15	国営農地
大宮町	10,000	10,000	10,000	32	国営農地
網野町	12,000	18,000	10,000	235	一般畑 国営農地
丹後町	0	0	0	0	利用権設定 実績なし
弥栄町	15,000	15,000	15,000	193	国営農地
久美浜町	22,900	25,000	5,800	193	一般畑 国営農地
(参考)京丹後市平均	15,900			670	

※現在、農業委員会では利用権設定にかかる終期通知書を耕作者に送付しています。引続き利用権設定の更新等にご協力ください。

琴浦町、出雲市視察研修記



▲琴浦町農業委員会にて

11月12日(土)13日(日)にかけ視察研修に参加しました。1日目の鳥取県琴浦町では、婚活事業の取組みを中心に取組みを重点に研習しました。実施に至る経過、取組み内容、委員会の役割、実績等きめ細かくそれぞれの立場からご教示を受けました。まず7年前の平成20年度から農業後継者のお嫁さん対策を重点課題の一つとして、県内外から参加者を新聞、マスコミ等にも取り上げて頂きスタート。紆余曲折を繰り返しながら今日に至っているとの事です。

当時、周辺に取り組んでいる地域は全くなくて「まず何事にも一歩から」というチャレンジ精神・手さぐりの中、強い思いで足をふみ出した様で、それは大変だったそうです。その一点が町内40代前後男性は、容易に集める事が出来たが、肝心の町内女性が多量に集まらず、県内まで範囲を広げようかという目途に達し、手始めに、イチゴ狩り、ケーキ作り、バーベキュー…等のイベントを行い、カップル誕生を夢見たそうです。

丸7年間、「ああでもない」「こうでもない」と知恵を出し合い気長に毎年取り組んだ結果、カップル成立は初年度のゼロ組か

ら1組、4組、4組、4組、14組、8組と着実に効果を上げ、そのうち5組が結婚されています。そしてその上、すべてが両親と同居され、子供も数人生まれ夫婦2人仲良く専業農家として頑張っておられるとお話を聞き、私達は大変感銘を受けました。

一年二回イベント内容も、関係者の創意工夫で、立食パーティー、アイスクリーム作り、県外バスツアー体験等々、魅力たっぷり。本年10月19日は「恋ミラクル婚活バスツアー」という域まで発展しています。

ただし、肝心の今どきの男性諸君は、女性に比べて大変おとなしく、口数少なく、せっかから盛り上げた話が数分でとぎれることから、3年目より事前研修会を行い、「きちことした身なり、女性に対してにこやかに笑顔で接し、好印象を相手に与える話題を前面に基本…」をアドバイス。また当日会場でも、側面から数名のサポートが交替で目につかない場所からシグナル発信して着実に成果を挙げておられ、私始め、多くの委員が色々な角度から尋ねて予定のタイムをオーバーする程に盛り上りを見せ、我が京丹後市エリアでも、琴浦町のアドバイスを仰ぎながら取り組んでいきたいと感じました。

2日目は、出雲市斐川町の農事組合法人「あかつきファーム今在家」を視察し、組合長・相談役より貴重なお話を伺いました。この法人は、昭和から平成にかけて再ほ場整備の機運が持ち上がる中で、集落そのものを担い手として位置づけ、全員参加型の「集落「農場」方式による営



▲連棟ビニール大型ハウス内で説明を受ける委員(あかつきファーム今在家にて)

農を取り組む事とされ、平成3年に営農組合を設立されました。その後、平成15年に農事組合法人の設立。組合員83名、ほ場面積75.8ha。10a区画からの再ほ場整備で周辺に類のない一区画平均2haのほ場(中には最大27ha区画あり)で、水稲のほか、麦・大豆・ハト麦・玉葱・キャベツ等々作付されています。

組合員の所有水田面積に依りて出役日数を定め、組合員全員参加で取組み、観光目的のチューリップ祭り用ほ場、雪が全くと降らない為、連棟ビニール大型ハウスによる、イチゴ狩り・ブドウ狩りを組んで全国から多数のお客さんを引き込んで、西日本各地帯にこんな素晴らしい所があるかとびつくり致しました。

しかし、高齢化等により後継者も少なくなっている事や、兼業で生業が別にあることなどから出役者確保が難しくなっており、組合運営も転換期になっているとのことと、農村地帯の悩みは全国共通かわりませんでした。

山副孝雄委員

若手編

農業者年金 ここがポイント!

「農業者年金」は保険料の国庫補助があります。

加入してるよ。 本当に!

農業者年金って知ってる? 勧められたんだけど。

国民年金だけだと将来不安だしね。 役場の農業委員会さんが教えてくれるよ!

- 若い時ほど農業者年金の保険料は掛けるのが大変ですが、最低額でも若い時から掛けることが、将来、自らのために必ずなります。
- 生命保険は、残された家族が60歳台からの年金を受給するまでに必要な生活を補うものです。生命保険はかけているけど、年金はかけていない、ということのないようにしましょう(生きる確率 VS 死亡する確率 のどちらがまず必要か、です)
- 農業の手伝いや水路の掃除など、田んぼの維持管理を手伝っている方は、自営業者やアルバイト(厚生年金加入者でないアルバイト)、パートなら、農業者年金に加入できます。
- どうしても、農業者年金を掛けるのが苦しい場合は、とにかくすぐに国民年金の付加年金(月額400円)に入りましょう。お得です!



久美浜まるかじりまつり

10月26日に開催された「久美浜まるかじりまつり」では、こうりゅう保育所園児による歌と踊りなどが披露され、会場内から暖かい拍手が送られました。また、フリーマーケットや農産物の直売などもあり、新鮮な野菜や果物をたくさんのお客さんが買い求めていました。



丹精込めた野菜・果物をどうぞ！！

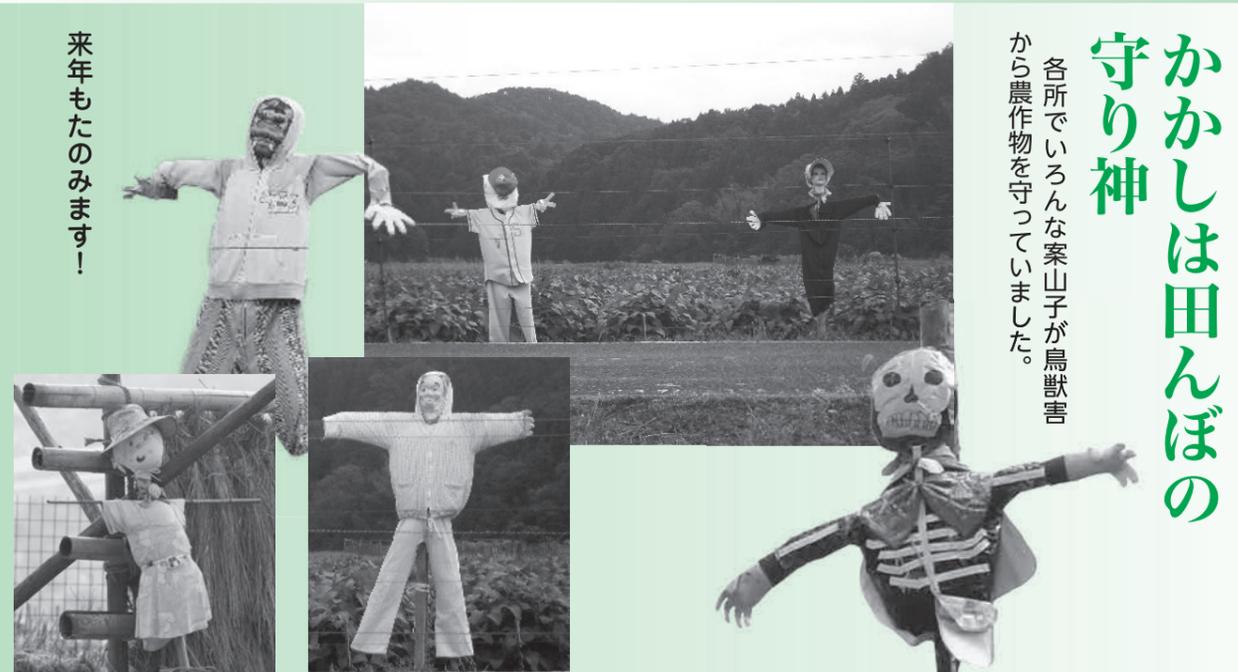
フィナーレは“餅まき”



こうりゅう保育所園児
ステージで最高のパフォーマンス

かかしは田んぼの 守り神

各所でいろんな案山子が鳥獣害から農作物を守っていました。



来年もたのみます！

京丹後紀行

今、農文協発行の写真ものがたり「昭和の暮らし」を眺めている。とりわけ第6巻「子どもたち」は、自分の子ども時代とも重なり、楽しく、懐かしい。

子どもの本業は遊び。朝、目が覚めたらず「今日は何して遊ぶかな」ということがまず頭をよぎる。通学の道々、悪童たちの話も、悪さや遊びのことが中心。勉強などそっちのけ。そんな時代だった。

昔からの遊び。かくれんぼ、鬼ごっこ、縄跳び、ケンパ、缶けり、メンコ、コマ廻し、チャンバラ・・・夏は、スツポンポンの裸ん坊で川で泳ぎ、冬は、手製の竹スキーやソリでスポンがジユクジユクになるのも忘れて、日が暮れて真っ暗になるまで遊んだものだ。

網野町「遊」は、鳴き砂で有名な琴引浜沿いにある。その昔、隣の掛津地区



「あそび」

～網野町・遊～

の人が、「遊びに行こうきゃあ。」と言ったことが地区名のルーツであるらしい。

探訪「丹後半島の旅」の著者澤潔さんは、著書の中で次のように述べておられる。死者の復活儀礼をもとと「アソビ」と呼び、その職業に従事した人々の一団を「遊部」という。古代の人々は、死体が腐敗しはじめて魂が死の国へ旅立っていくのであり、それまでは生き返る可能性を持っていると考えていた。だからこそ復活儀礼を行い、天皇・皇子・皇女や貴族・豪族など高貴な人の死であればあるほど、その荘重を極めた。もしかすると「遊」という地名は、そちらに由来するのかもしれない。

遊び（アソビ）という言葉には、子ども遊びの他に、ものごとや機械にゆとりがあること（ハンドルの遊びなど）や、先述の復活儀礼などの意味がある。言葉の意味から地名のルーツを考えてみるのも楽しい遊びの一つなのかもしれない。

文／鴨田 忠司

稲刈りがんばるぞー！



足踏み脱穀機を使い脱穀しました



鳥取保育所のたんぼ

弥栄町鳥取保育所の田んぼでは山副孝雄農業委員の指導により、稲木干しをした籾の脱穀作業を行い、収穫したお米でお食事が行われました。



自分たちで作ったお米サイコー！！

京都府農業会議 創立60周年

京都府農業会議は今年で創立60周年を迎え、「農業委員等農政・組織問題研修会」を開催し、府内各地域の農業委員約300人が参加しました。当日は京丹後市農業委員会梅田会長が府内の農業委員を代表して「担い手を守り、農地を守る仕組みをきっちり残そう」と決意表明しました。



力強く決意表明する梅田会長

郷土料理



さといもといかの煮つけ

【材 料】 4人分

○さといも…600g
○いか…1ばい(400g) ○だし汁…適量

砂糖……………大さじ1
しょうゆ……………大さじ1.5
@ みりん……………大さじ2
塩……………大さじ1
酒……………大さじ2
いんげん……………適量

【作り方】

- ① さといもは洗って皮をむき、ヌメリを取る。いかは、足とワタを抜いて皮をむき、1cm幅の輪切りにする。足も5cmの長さ切る。
- ② いかをからいりし、砂糖、しょうゆ、酒、各大さじ2を入れて煮る。水分が出たらいかを取り出し、煮汁を少し煮つめてからいかをもどし、煮汁を煮からめて、いかをもう一度取り出す。
- ③ ②の鍋にさといもとだし汁1.5～2カップ、調味料@を入れ、落しぶたをして中火で煮る。茹でたいんげんを付け合せにする。

ビタミンB1、Cが比較的豊富で、でんぶんの粒子が細かく、体調を整えてくれると聞いています。煮物や汁の具、田楽、あえ物、揚げ物など、色々な調理でさといもならではの味わいを楽しみましょう。



米田春美委員

さといもはいかと相性がよく、旬を感じさせる野菜です。

種を絶やさないと地域の方からいただきました。この地域に馴染んだ里芋だそうです。食べてみるとほんとに粘りがあり柔らかくてモチモチとした食感があります。販売先はこだわりのある百貨店等に出荷していますがとても好評で引っぱりだこです。今年からは有機JASの里芋を栽培しています。



株式会社 エチ工農産
代表取締役 越江雅夫さん

私が栽培している里芋は、昔から久美浜で栽培されている芋で、

『里芋について』

『選挙人名簿登載申請書』の提出のお願い

農業委員会等に関する法律施行令第3条の規定により農業委員会委員選挙人名簿が調製されます。この選挙人名簿は農業委員を選出する選挙人を確定するための大切な名簿です。名簿に登録されていなければ農業委員の選挙が行われた場合に投票することが出来ませんので登載申請書の提出をお願いします。

- 選挙人名簿は、平成27年1月1日現在に市内に住所を有する方について①及び②の条件で作成されます。
- ① 平成27年3月31日現在、満20歳以上の方で、10アール以上の農地について耕作の業務を営む方(農業経営主)
 - ② ①の農業者と同居している満20歳以上の親族・配偶者で、年間おおむね60日以上農業に従事している方

○登載申請書は、区または農会などを通じて配布されますので、区・農会などの指示により平成27年1月9日までに、市または農業委員会へ提出をお願いします。